

令和6年12月13日
(2024年)

保護者のみなさま

吹田市立東山田小学校
校長 植村 誠

令和6年度 全国学力・学習状況調査の分析について

本年度、6年生を対象として「令和6年度全国学力・学習状況調査」を実施し、9月上旬に個人ごとの結果をお返ししました。また吹田市でも、今回実施した調査結果の概要を吹田市のホームページを通じて公表しております。

この調査は小学校の最終学年のみを対象とした調査であり、教科も国語と算数に限られ、測定されたものは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。そのことをまず踏まえつつ、調査によって得られた課題を明らかにし、その改善に全力を注ぐことが、調査本来のねらいであると考えています。

対象となった6年生には、よりきめ細やかな指導ができるよう取組みを進めるとともに、学校全体として課題に応じた学力向上につながる具体的な指導法の工夫改善も図ってまいります。各ご家庭におかれましても、以下の分析結果をもとに、今後の家庭学習の指針として、参考にしていただきますようお願いいたします。

1 教科に関する調査の分析

●国語《概要》

☆平均正答率は全国値を上回っている。

☆記述式問題では、無回答率が全国値よりもはるかに少なく、意欲的に取り組んでいるが、複数の選択式問題では、無回答率が全国値を上回っている。

☆基本的、基礎的な国語に関する知識、技能が身につけていると考えられる。

《各領域における成果と課題》

言葉の特徴や使い方に関する事項

・文章の中のことばを漢字に書き直す問題では、わずかに無回答も見られたが、すべての問題で全国値を上回っている。

情報の扱い方に関する事項

・結果から、大阪府や全国と比較しても大きく上回っているといえる。このことから、資料から情報を読み取る問題では、的確に情報を読み取れることができている。また、無解答の割合も他と比べて少ないため、難しいと感じてもあきらめずに解こうとする力がある。

我が国の言語文化に関する事項

・正答率が全国より上回っている。全国値と比べると無回答率が高い。

話すこと・聞くこと

・全国平均を大きく上回っている。話し手の目的や、聞き手のことを考えて、事実・感想・意見とを区別して話の構成を考える力がある。

書くこと

・記述式問題では、無回答率が全国平均を下回り、メモや条件を元にして文章を書く力が全国平均を上回っている。文章を書くための構成メモの書き方について理解する力が全国平均を上回っている。

読むこと

・読み取り問題では、大阪府、全国と比較しても平均を上回っている。文章から心に残ったことやその理由をまとめる問題では、全国平均を大きく上回っている。無回答の割合も全国や大阪府よりも下回り、難しいと感じる問いに対してもあきらめず解こうとする様子が伺える。

《国語科における今後の指導改善点》

14問中13問で全国の正答率を上回っておりおおむね良好と考えている。しかし、無回答率は、14問中4問で全国値を上回って、課題があると考えている。特に、漢字を正しく使うことや主語と述語との関係を問う問題は全国値を大きく上回っており、基礎学力がしっかりと定着していることがうかがえる。今後も、児童が自らを評価しながら学習を主体的に進めることができるよう取り組みを進めていきたい。

●算数《概要》

☆平均正答率は、全国値を上回っている。

☆無回答率が全国値より低く、最後まで問題に取り組むことができている。

☆基本的、基礎的な算数に関する知識、技能が身につけていると考えられる。

《各領域における成果と課題》

数と計算

- ・全ての問題で全国平均値を大きく上回っている。除法の小数点がある筆算の問題は他に比べると全国平均値に近く、課題が見られる。

図形

- ・全国値を上回っているが、球体がからんだ体積を求める問題では、無回答もあり、課題がみられた。

測定

- ・今年度は、「測定」領域の問題は、実施されなかった。

変化と関係

- ・全国値を上回っているが、道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述することや、速さの意味について理解することに課題が見られる。

データの活用

- ・全国値を上回っている。表の意味を理解し、全体と部分の関係に着目して、項目にあたる数を求めることができた。

《算数科における今後の指導改善点》

すべての問題で全国の正答率を上回っており、良好な結果となった。無回答率もすべての問題で全国値を下回っており、意欲的に思考し最後まであきらめずに問題を解くことができている。今後も児童の意欲的な学習を支援しながら、個別最適な学びを通して自分の考えをしっかりと持ち、協働的な学びを通し思考力判断力を育む指導に力を入れていきたい。

2 生活習慣や学習環境等に関する調査の傾向（児童質問紙の結果から）

*生活習慣・規範意識について

- ・「毎日同じくらいの時間に寝ていますか」「毎日同じくらいの時刻に起きていますか」の項目で肯定的な回答は、全国値をやや上回っている。
- ・「自分にはよいところがあると思いますか」や「先生は、あなたの良いところを認めてくれると思いますか」の項目で肯定的な回答は、全国値を上回っている。
- ・「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」の項目で肯定的な回答は、全国値を上回っている。
- ・「困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」の項目で肯定的な回答は、全国値を上回っている。
- ・「学校に行くのは楽しいと思いますか」の項目で肯定的な回答は、全国値を大きく上回っている。

- ・「あなたの家にはおよそどのくらいの本がありますか」の項目で0から10冊の回答が少なく、501冊以上の回答も全国値を大きく上回っている。
- ・「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」の項目で肯定的な回答は、全国値をやや上回っている。

*学習について

- ・「国語の勉強は好きですか」「国語の勉強は大切だと思いますか」の項目で肯定的な回答は、全国値を大きく上回っている。
- ・「算数の勉強は好きですか」「算数の勉強は大切だと思いますか」の項目で肯定的な回答は、全国値を上回っている。
- ・「5年生までに受けた授業でPC、タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか」の項目で「ほぼ毎日」や「週3回以上」の回答は、全国値を大きく上回っている。
- ・「5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の項目で肯定的な回答は、全国値を上回っている。

3 課題及び今後の取り組み

本調査の結果から、児童の学力は全国値を上回っており、基礎基本の力が身についている児童が多く、学習に対して意欲的に取り組むことができているといえます。今後も、主体的に、自分の思いや考えから計画を立て調べたり創作したりする学習を大切に、児童が自らを評価しながら学習を進めることができるよう取り組みを進めます。また、正しいタブレットの使用について学習を進めながら、個別の学習や協働的な学びの中での活用を進めてまいります。

児童質問紙の結果からは生活習慣・規範意識に関する項目について全国値を上回っています。本校では、指導上の課題としていじめ防止についても継続的に取り組みを進めており、児童のいじめ防止に対する意識も高い結果となっていますが、その知識をいかに自分事として捉え、学校生活をより良いものにしていくかが大きな課題です。今後、さらに、いじめ防止授業の推進やデイケンの活用も併せて取り組みを進めていきたいと考えています。

最後に、私たちは、東山田小学校すべての子供たちが、「学校へ行くのが楽しい」「勉強が楽しい」と感じる事が大切だと考えています。今後も全職員で「今日も楽しかった、明日も学校が楽しみや」と児童が思える学校づくりに努めます。

今後とも、本校教育活動に対し、保護者の皆様のご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。